

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE 建築（新築）2016年版（使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-6D_NC_2016(v3.0)）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	こうべ小学校	階数	地上6F
建設地	兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目	構造	RC造
用途地域	第2種住居地区、中央駐車場整備地	平均居住人員	570人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2022年3月6日
敷地面積	12,058 m ²	作成者	小林 賢一
建築面積	4,570 m ²	確認日	年月日
延床面積	4,786 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値
②建築物の取組み
③上記+②以外の
④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
<p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>4.0</p>	<p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>3.2</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>3.0</p>	<p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>5.0</p>
<p>配慮の概要 歩道から各教室・プールまでバリアの無い経路を確保し、全ての人が同じ場所に移動出来るようにしています。廊下は、車椅子同士でもすれ違える幅を確保し、階段も出来る限りゆとりのある幅員・勾配を確保しています。上下移動の主動線となるEVは、福祉条例に準拠した設えを行っています。</p>	<p>配慮の概要 建築基準法に定められた25%増の耐震性能を有しています。</p>	<p>配慮の概要 隣接する相楽園の雰囲気・空気感を損なわないよう、建築様式・色合い・エレメントを部分的に取り入れ、連続性・一体感のある景観を形成するように配慮しています。南西交差点から道を挟んで対をなす景観(見え方)に配慮して計画しています。</p>
<p>その他の配慮事項</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたいた

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
 三浦小学校

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.2
1 音環境						3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.7	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能		Dr-41				4.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		スラブ厚:170mm(増打20mm)、ビニル床シート:10mm				4.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		スラブ厚:170mm(増打20mm)、ビニル床シート:10mm				4.0	0.20	-	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御						2.2	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能						1.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用						4.2	0.30	-	-	
1 昼光率		U=9.335(普通教室2パターンにおける平均値)				5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		庇とカーテンの2種類を組み合わせている				4.0	1.00	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		全てF☆☆☆☆を採用している				5.0	1.00	-	-	
4.2 換気						2.6	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		1/15以上の自然換気有効開口面積を確保				4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		神戸市内小学校は敷地内・建物内のすべて禁煙				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		正門から新設南校舎にて外部から内部への段差のバリアフリーを実施				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.5	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						3.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画		玄関の天井を木製ルーバーにし、柔らかに迎え入れる空間とした				4.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		床面にビニルシートを使用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		各種分別可能なゴミ置き場を1階に確保				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.2	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		重要度係数1.25を確保				4.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		災害時の有線電話、FAXを設置				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.7m	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.225	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材、仕上げ材を痛めることなく修繕できる	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応したルートを確保	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		隣接する相楽園の正門構えをモチーフに玄関をデザインし、連続性を	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI _m]=0.64	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.73	3.7	0.50	-	-	3.7
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		主要水栓に節水コマを取付	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材・パーティクルボード	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		可動間仕切りを使用することにより躯体と容易に分別が可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		一般的な建築(参照値)に対して、50%相当のCO2排出量を有する	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.20	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物を設けていない。ガイドラインを一部満たしている	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	